

Infiniium S シリーズ オシロスコープ

すべては正確な波形表示のために

最新設計のデバッグ、コンプライアンスの検証などでは、オシロスコープが信号の波形を正確に表示できることが重要です。そのために、Infiniium S シリーズ オシロスコープは、世界最高クラスのシグナルインテグリティーを念頭に置いて設計されています。S シリーズの優れたタイムベース、フロントエンド、ADC テクノロジーブロックにより、最大 16 ビットの分解能、低ノイズ、低ジッタ、高 ENOB のプラットフォームを実現し、被試験デバイスの真の性能を表示します。



ハードウェア オプション

DSOS000-200	200 M ポイントメモリ
DSOS000-400	400 M ポイントメモリ
DSOS001-DSA	200 M ポイントメモリ+ EZJIT Complete
DSOS000-A6J	ANSI Z540 準拠校正
N2153A	リムーバブル 256GB Windows 10 SSD
N2902B	ラックマウントキット

Infiniium S シリーズについて、詳しくは www.keysight.com/find/S-Series

本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。 © Keysight Technologies, 2019, Published in Japan, April 25, 2019, 5991-4028JAJP

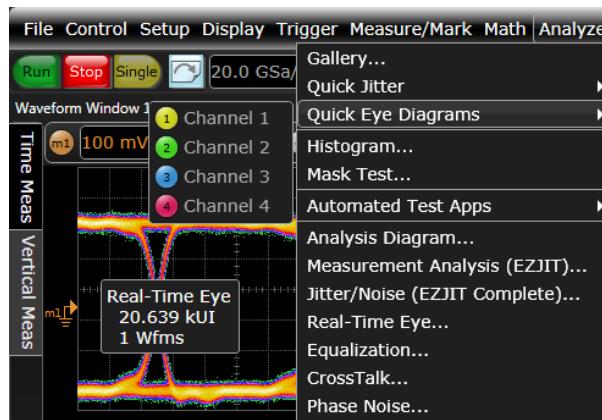
S シリーズ基本性能							
型 番 ^[1]	DSOS054A/ MSOS054A	DSOS104A/ MSOS104A	DSOS204A/ MSOS204A	DSOS254A/ MSOS254A	DSOS404A/ MSOS404A	DSOS604A/ MSOS604A	DSOS804A/ MSOS804A
帯域幅 (-3dB) 50Ω	500 MHz	1 GHz	2 GHz	2.5 GHz	4 GHz	6 GHz ^[4]	8 GHz ^[4]
10/90% 立ち上り時間 ^[2]	860 ps	430 ps	215 ps	172 ps	107.5 ps	71.7 ps	53.8 ps
有効ビット数 ^[3]	8.1	7.8	7.5	7.4	7.2	6.8	6.4
ノイズフロア ^[5]	74 uV	90 uV	120 uV	130 uV	153 uV	195 uV	260 uV
最大サンプリングレート	20 GSa/s (2 ch 時) / 10 GSa/s (4 ch 時)						
標準メモリ長	100 M ポイント (400 M ポイントまでアップグレード可能)						
垂直軸分解能	10 ビット (フル帯域高分解能モードでは最高 16 ビット)						
感度/ノイズ密度 ^[6]	-160 dBm/Hz						
SFDR ^[7]	72 dB						
ディスプレーサイズ	15 インチ静電容量方式タッチスクリーン、外部モニタ出力 VG および Display Port						

[1] DSO/MSO モデルは 4 個のアナログチャネルを備えています。さらに、MSO モデルは 16 個のデジタルチャネルも備えています。[2] 0.43/BW に基いた計算値。[3] フル帯域幅、高分解能モードでの測定値。代表値であり、保証されている仕様ではありません。[4] 6 GHz および 8 GHz 帯域幅は、2 チャネルモードでサポート。4 つすべてのチャネルがオンの場合は、4 GHz 帯域に制限されます。[5] フル帯域幅のサンプリートレート、高分解能モードでの 2 mV/div の測定値。[6] 1 mV/div、-38 dBm、1,0001 GHz 中心周波数、500 kHz スパン、3 kHz RBW でテスト。[7] 1 GHz、0 dBm の入力信号、FFT (3 GHz 中心周波数、5 GHz スパン、100 kHz RBW) でテスト。

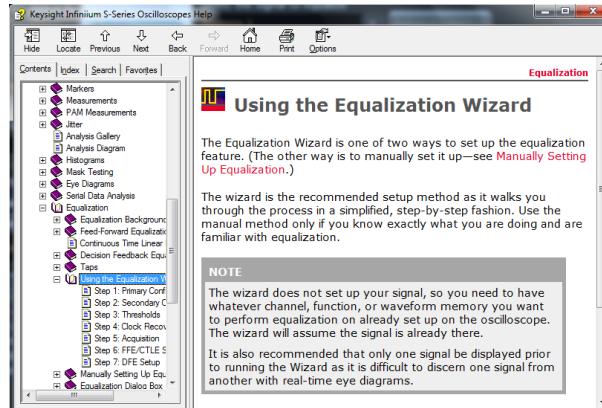
プローブおよびソフトウェアオプション

N2873A	パッシブ、10:1、500 MHz シングルエンドプローブ(全モデルに 4 本標準付属)
1130/31/32/34B	アクティブ、1.5–7 GHz、シングルエンド/差動 InfiniiMax プローブ ファミリー
N2750/51/52A	アクティブ、1.5–6 GHz、シングルエンド/差動 InfiniiMode プローブ ファミリー
N7020/24A	アクティブ、2–6 GHz、シングルエンド パワーレールプローブ
N2795/96/97A	アクティブ、1–2 GHz、シングルエンド (N2797A 温度負荷試験 (-40 C to +85 C)用プローブ)
N2792A, N2818/19A	アクティブ、<800 MHz、差動 低電圧 (20 V 差動、60 V コモンモード)
N2790A, N2804A, N2891A	アクティブ、<300 MHz、差動 高電圧 (7 kV まで)
N2780/81/82/83B	クランプオン型 AC/DC 電流 プローブ ファミリー (500 A _{RMS} 、100 MHz)
N7026A	クランプオン型 AC/DC 電流 プローブ (30 A _{RMS} 、150 MHz)
N7040/41/42A	ロゴスキーコイル型 AC 電流 プローブ (3 kA まで、30 MHz)
D9010DMBA	ディエンベディング：ケーブル/プローブ/フィックスチャのモデリング用 PrecisionProbe & InfiniiSim Basic
D9010JITA	EZJIT Complete ジッタ解析：タイミングジッタ、垂直軸ノイズ、位相雑音解析
D9010SCNA	InfiniiScan：ビジュアルベース／測定ベーストリガ
D9010LSSP	低速シリアル デコード/トリガ：I2C, SPI/eSPI, Quad SPI/eSPI, RS232/UART, JTAG, I2S, SVID, Manchester
D9010BSEO	Infiniium オフライン：PC で Infiniium の GUI でリモート測定、解析、レポート作成が可能

直観的なユーザインターフェース

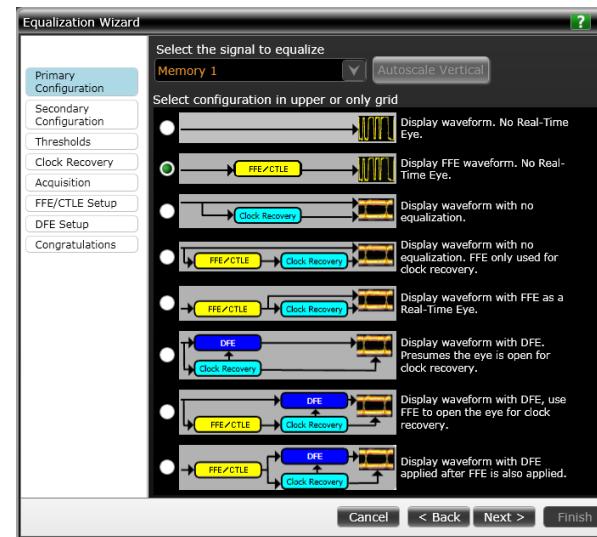


Infiniium の GUI は、マウスやタッチ操作のために最適化されたシンプルでわかりやすいメニュー構造になっており、誰でも簡単にアクセスできます。ジッタ測定、アイダイアグラムなどは、解析メニューをワンクリックするだけで、自動的にセットアップします。

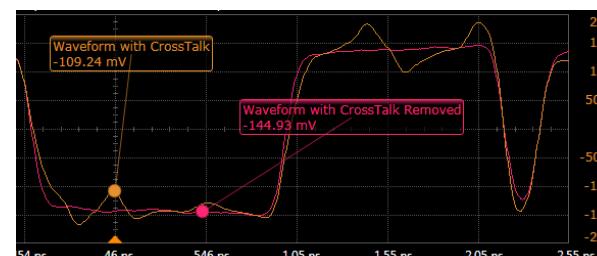


S シリーズの機能を最大化するための内蔵のヘルプ機能により、ダイアログボックスやメインメニューからの検索でどんな機能にも瞬時にアクセスできます。

包括的なシグナルインテグリティー解析アプリケーション



ベストな測定に必要となる最適な設定条件を、セットアップウィザードでステップごとに教えてくれます。このイコライゼーションのウィザードでは、接続時のフィクスチャ、ケーブル、プローブなどの影響を独自の手法で除去できるので、高速なデータ信号のつぶれたアイパターンでもしっかり開いたアイとして解析可能です。

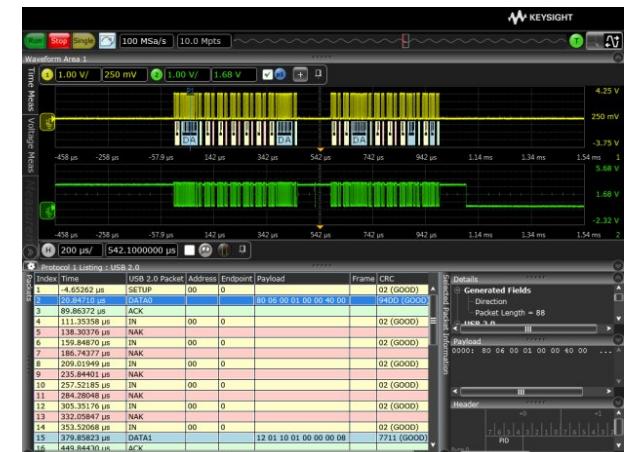


キーサイト独自開発のクロストーク解析アプリケーションなら、再設計をする前に、加害者信号を特定し、その影響を除去した信号波形のエミュレートが可能です。
(D9020ASIA)

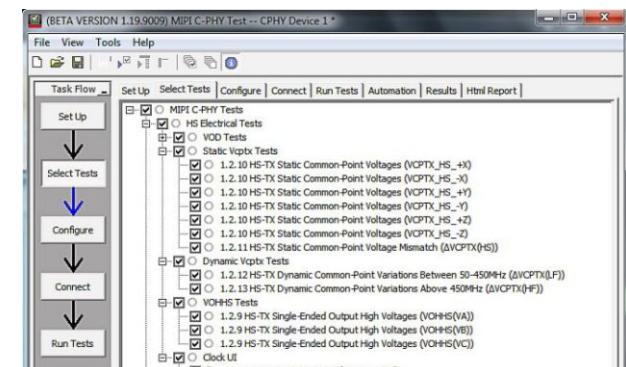
Infiniium S シリーズについて、詳しくは www.keysight.com/find/S-Series

本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。 © Keysight Technologies, 2019, Published in Japan, April 25, 2019, 5991-4028JAJP

プロトコルデコード/トリガおよびコンプライアンステストツール



各種シリアル通信規格のデコード/トリガ機能は、信号波形と連動したデコード表示や、エラー条件などのプロトコルレベルでのトリガ設定が可能です。



コンプライアンステスト解析パッケージは、30種類以上の各種規格をサポートし、物理層の試験項目を簡単にセットアップし、測定からレポート作成までをほぼ自動化しています。